

まだまだ暑さは続きますが、少しずつ店頭は「秋」が訪れています。「秋の代表格の花」と言えば「菊」ですよね。お供え用の花というイメージも強い菊ですが、実は可愛らしい種類があるのはご存知でしょうか？

まるでダリアのような大きくて愛らしい菊や、花がボール状にびっしりと詰まった菊など、今までのイメージを覆すような可愛らしい菊が増えて、楽しみのより多いお花として近年海外でとても人気が高いです。

また、呼び方も「ママ」と呼ばれていて、母の日(MOM)に使われることもあります♪ 菊は花もちが良いことから「末永く続く」を連想させ、古来より高貴の象徴とされてきたそうです。

また、菊と言えば9月9日の「重陽の節句」ですよね。重陽の節句と言えば日本の五節句の1つであり、菊の花を飾り、菊の花びらを浮かべたお酒を楽しみ、長寿や無病息災を祈願する行事です。

この重陽の節句に、ぜひ菊を「イマドキ」に飾ってみるのはいかがでしょうか？それぞれの花型が楽しめるよう短く切って、一輪ずつを個性的な花瓶に合わせて標本のように飾ってみたり、小さめの菊は秋らしい草ものと合わせてふんわりと風を感じられるように活けたりと、楽しみ方はたくさんあります♪

「菊」はもちろんですが、女郎花(オミナエシ)やワレモコウ、ケイトウなど風流な秋草たちも自分流に可愛く飾りたいものですよね。季節やご自分の気分によって花器とどう合わせるか？と思い悩むのも、楽しいひと時といえます。店頭ではところどころに小さな花器に生けた花が置いてありますので、ぜひ参考にチェックしてみてくださいね♪

9月は菊をはじめとする和花で、秋の始まりを楽しんでみてくださいね！



① 大輪のマムと秋の花々をあしらったアレンジメント。菊とは思えない程の豪華な花姿です。 ¥3,850（税込）



和花で彩る秋



② ワレモコウの分け枝などを切り取って、小さな花束のように少しずつ。テーブルやキッチンの小さなスペースで秋の花を楽しめます。



③ 短く切った菊を丸い花器にころんと生けるのが、イマドキな楽しみ方です。



④ リンドウやケイトウ、シュウメイギクなど、秋を代表する花たちを集めた寄せ植えです。 ¥9,500（税込）

information

NHK 趣味の園芸：ケイトウ“色あせぬ恋の花”

出演：小笠原誓
10月1日（日）NHK Eテレ 午前8時30分～
再放送：4日（水）午後1時05分～



② ワレモコウの分け枝などを切り取って、小さな花束のように少しずつ。テーブルやキッチンの小さなスペースで秋の花を楽しめます。



③ 短く切った菊を丸い花器にころんと生けるのが、イマドキな楽しみ方です。



④ リンドウやケイトウ、シュウメイギクなど、秋を代表する花たちを集めた寄せ植えです。 ¥9,500（税込）



② ワレモコウの分け枝などを切り取って、小さな花束のように少しずつ。テーブルやキッチンの小さなスペースで秋の花を楽しめます。



③ 短く切った菊を丸い花器にころんと生けるのが、イマドキな楽しみ方です。



④ リンドウやケイトウ、シュウメイギクなど、秋を代表する花たちを集めた寄せ植えです。 ¥9,500（税込）



② ワレモコウの分け枝などを切り取って、小さな花束のように少しずつ。テーブルやキッチンの小さなスペースで秋の花を楽しめます。



③ 短く切った菊を丸い花器にころんと生けるのが、イマドキな楽しみ方です。



④ リンドウやケイトウ、シュウメイギクなど、秋を代表する花たちを集めた寄せ植えです。 ¥9,500（税込）



④ ユーホルビア オベサ 梵天 陶器鉢植え
¥5,500（税込）放射状の模様が美しい多肉植物。
生長はゆっくりで円柱状に大きくなる。子株が出
やすいのも楽しみの一。



⑤ レウクテンベルギア 晃山 陶器鉢植え
¥3,300（税込）一般的な丸いサボテンとは違い、
四方に伸びた腕から伸びる無数のトゲが特徴的！



⑥ ユーホルビア マハラジャ 陶器鉢植え
¥5,500（税込）個性的な見た目は綴化（せっ
か）と言われる突然変異的な奇形。単独で育てる
ことが難しく同じユーホルビア科に接ぎ木される
ことで生育していく。



⑦ ブラウンシア ランプランサス（碧魚連）
陶器鉢植え ¥3,300（税込）
魚が連なっているように見えることから碧
魚連とも呼ばれる。



⑧ ギムノカリキウム 陶器鉢植え ¥12,100（税込）
籠サボテンとも呼ばれるサボテン科の一種。扁平な
球状のものが多く、色合いが様々で美しい。

摩訶不思議！サボテン・多肉植物

サボテン、多肉植物は実に様々な特徴、形をしたものが存在します。最近では珍しい品種も見かけることが増えました。サボテンやアロエ・エケベリアなどの人気の多肉植物は育てやすく、手に取っていただく機会も多いと思います。ただ、サボテン・多肉植物の世界はまだ広く、語りつくせないほど魅力的な世界が広がっています。

手に取るにあたって、珍しい種類も気になるけど目が飛び出るほどの高額なものがあったり、そもそもどうやって育てていいかわからない…などのお悩みも多くあるかと思いますが、極一部の品種を除いて、そんなに育成難易度が高いものばかりではありません！サボテンや多肉植物を育てた経験のある方なら、そんなに身構えることはありませんよ。

乾燥に強いとはよく言いますが、日本の夏は湿度が高いため実際思っているよりも土の乾きは遅く、それほど水やりを必要としません。室内で管理することが多いと思いますが、室内管理の光量だと日当りは十分とは言えません。なるべく長い時間日の当たる場所に置くようにしましょう。生育に必要な水、光、温度の3つの条件を整えることで、育成難易度は格段に下がります。温度が高く生育期であっても光が少ない場所で水をやると徒長の原因になり、さらに夏でも水のやりすぎで根腐れを起こすこともあります。「水は最低限必要な分だけ」・「なるべく多くの日照」この2つのポイントに注意していれば、意外と簡単に育てることができます！

秋が近づくと紅葉を楽しめる多肉植物も店頭に増えてきます。良き出会いの多い夏の終わりから秋、いろんなサボテン・多肉植物を育ててみましょう！